

## 社内セキュリティの向上を『仕組み』で実現したいと考えています P-Pointerも、その仕組みの一つです



### 求めた要件

- 要件1.「市場シェア」**  
多くの企業、金融機関で幅広く導入されているシェアの高さ
- 要件2.「基礎性能の高さ」**  
個人情報を確実に検出し、改正個人情報保護法にも対応するなど基礎性能の高さ
- 要件3.「使いやすさ」**  
社員各自がマニュアル無しで、ストレスなく利用できる直感的な操作性
- 要件4.「動作の速さ、軽さ」**  
操作する社員の業務を邪魔しない、動作の軽さと安定性



クラウド名刺管理サービスを提供するSansan株式会社。  
「それさあ、早く言ってよ～」のCMでおなじみの同社のサービスは、  
企業向け「Sansan」が全国7000社に、  
個人向け「Eight」が200万ユーザーに利用されるなど、現在、急成長中です。  
同社のITインフラデザイングループ久永 航氏(写真:左)、網島 芳紀氏(写真:右)に  
「P-Pointer」を導入した経緯とその効果について伺いました。

**sansan**

創業 2007年  
従業員 400名  
<https://jp.corp-sansan.com/>

### 【導入の背景】成長期だからこそ、各人の意識向上が重要

P-Pointerを使って社内の個人情報を検査するにあたり、最も期待したのは、「社員の意識づけ」、「気づき促進」の効果です。おかげさまでSansan株式会社は現在、急成長しており、これに伴い毎月10人ほどの新しい社員が入社しています。さて一般論で考えれば、「人が急激に増える成長期」とは、「何かしらのほころびが出やすい時期」でもあります。弊社は社員のセキュリティ意識を信頼していますが、それでも人間である以上、「うっかり」は、どうしても生じます。「つい個人情報ファイルをパソコンに残してしまった」、「まさかこれが個人情報とは思っていなかった。うっかり判断ミスをした」、こうした事態を未然に防ぐには、社員

の意識をさらに高めなければならない。それには、どうすれば良いかというと、「現実を見せて、気づかせること」がやはり最も有効だと考えました。Sansanは、「名刺という個人情報」をクラウド管理するサービスを提供しているからこそ、社内セキュリティ強化が重要だと考えます。社内セキュリティの確保においては、システムのほか、「人的な仕組み作り」、「社員ひとりひとりの意識向上」も重視しています。個人情報検出ソフトウェアに期待したのは、社員のパソコンの中に実際にどれほどの個人情報が眠っているのかという「事実」を社員に認識させることです。そして2015年より、導入ソフトウェアの選定を開始しました。

## 【導入効果】「現実を知らせ、気づかせる」を実現

2016年に導入して以来、半期ごとに全社的な検査を実施しています。社員のセキュリティ意識を「現実を知らせ、気づかせる」ことを通じて高める、その仕組みを確立するという当初の企図は、P-Pointerの活用により十分、達成できたと考えます。導入に先立って各種製品を比較検

討した際に、P-Pointerは求める要件を最も満たしていたこと、特に「市場シェア、実績」の部分が他を圧倒していたことから選定しましたが、期待した効果は出ていると認識しています。

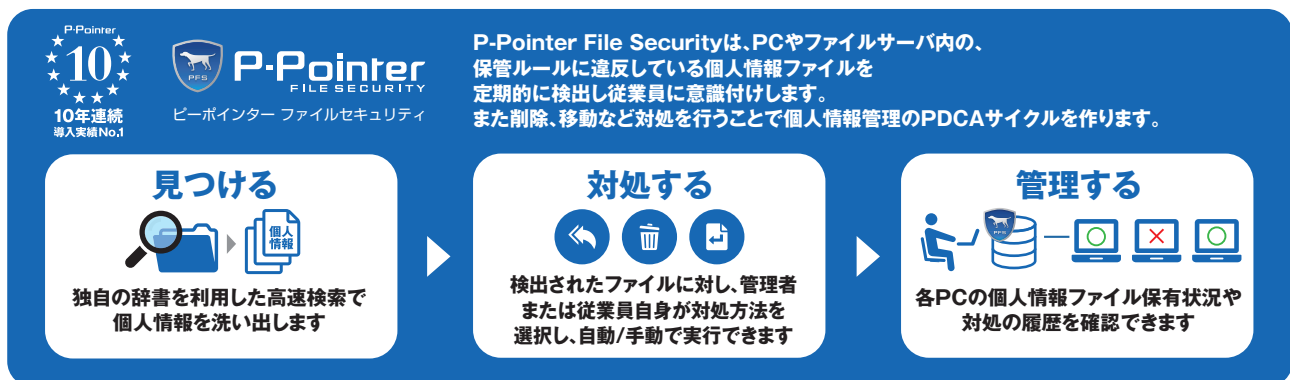
## 【運用】ほぼ全社を対象とした定期的な検査

Sansanでは社内の個人情報管理を万全にするために、P-Pointerによる個人情報検査を定期的に行っています。検査の概要は次のとおりです。

項目	内容	備考
対象	全社全部門 (経営層を含む)	※Windows/パソコンのみ
検査頻度	半期に一度	情報システム部門の告知に対応し、社員が自分でP-Pointerを操作して、各自パソコンの検査を実行
個人情報ファイルが発見された場合の対処方法	削除または退避	-
検査レベル	「厳しいレベル」で検査 (※ ファイル内に個人情報が入っているだけでも検出)	最初は「厳しいレベル」で検査する。この場合「個人情報が入っている名簿ファイル」も「自分の名前が入っているだけのWordファイル」も同等に検出される。そのファイルが本当に「削除/退避すべき不適切なファイル」なのかどうかは社員が判断する

企業の情報セキュリティを強化するには、システム投資と従業員の意識向上の両方が必要です。そして意識向上のために最も重要なのは、「社員が「自ら気づく」こと」であり、その気づきを誘発するにはやはり「現実を知らせる(見せる)」のが最も有効だと考えます。

## P-Pointerの3つのステップで個人情報ファイルを検出・管理



## 導入実績10年連続シェア No.1

金融、IT、通信、サービス業などを始め多くの業種でご利用いただいております

(2015年 株式会社ミック経済研究所調べ)

- アステラス製薬株式会社様
  - 鳥取県庁様
  - 野村信託銀行株式会社様
  - 株式会社i.JTB様
  - 城南信用金庫様
  - 花キュービット株式会社様
  - アニコム損害保険株式会社様
  - Sansan株式会社様
  - 株式会社シャノン様
  - 株式会社アグレックス様
  - つなぐネットコミュニケーションズ株式会社様
  - 株式会社ブラザサンルート様
  - SMBCコンシューマーファイナンス株式会社様
  - 株式会社ディー・エヌ・エー様
  - ベルリッツ・ジャパン株式会社様
  - SMBC日興証券株式会社様
  - 株式会社ディノス・セシール株式会社様
  - 株式会社毎日放送様
  - SBI証券株式会社様
  - 東京海上日動システムズ株式会社様
  - マネックス証券株式会社様
  - 遠州鉄道株式会社様
  - 日本航空株式会社様
  - 株式会社ゆうちょ銀行様
  - 株式会社協和様
  - 日本マクドナルド健康保険組合様
  - 楽天生命保険株式会社様
- 他多数

P-Pointerの体験版および詳しい導入事例は弊社ウェブサイトまで <https://ppointer.jp>

## arara アララ株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山2-24-15 青山タワービル別館  
TEL : 03-5414-3611 FAX : 03-3746-3622  
Mail : info@ppointer.jp URL : https://ppointer.jp

※「P-Pointer」は、アララ株式会社の登録商標です  
※記載されている会社名及び商品名/サービス名は、各社の商標または登録商標です  
※記載の情報は、取材時(2018年3月)の情報です  
※記載内容の一部または全部を複写、転載することは、いかなる理由を問わず禁止します